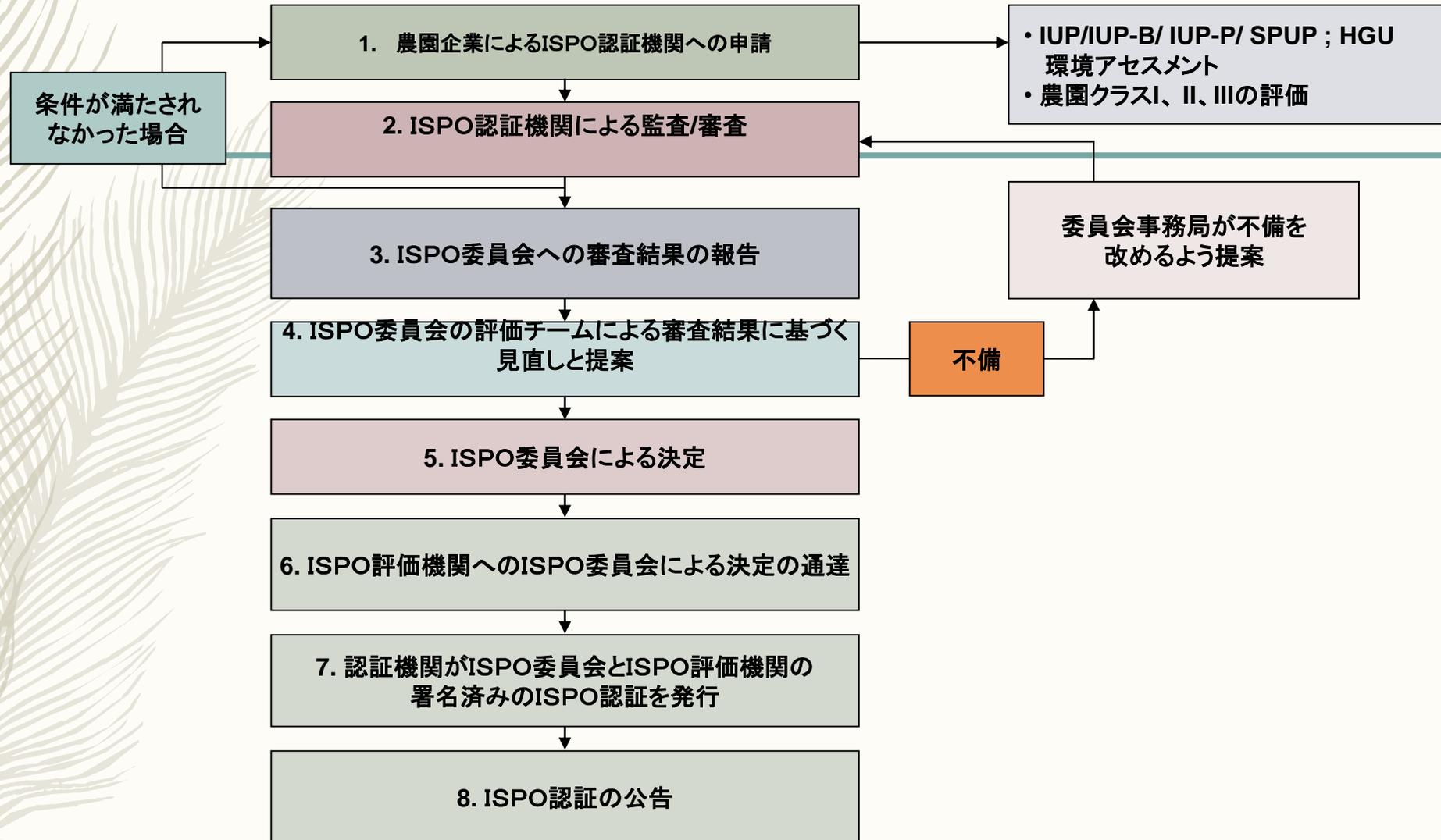




# インドネシア持続的パーム油 (ISPO) 認証制度について

2020年9月17日

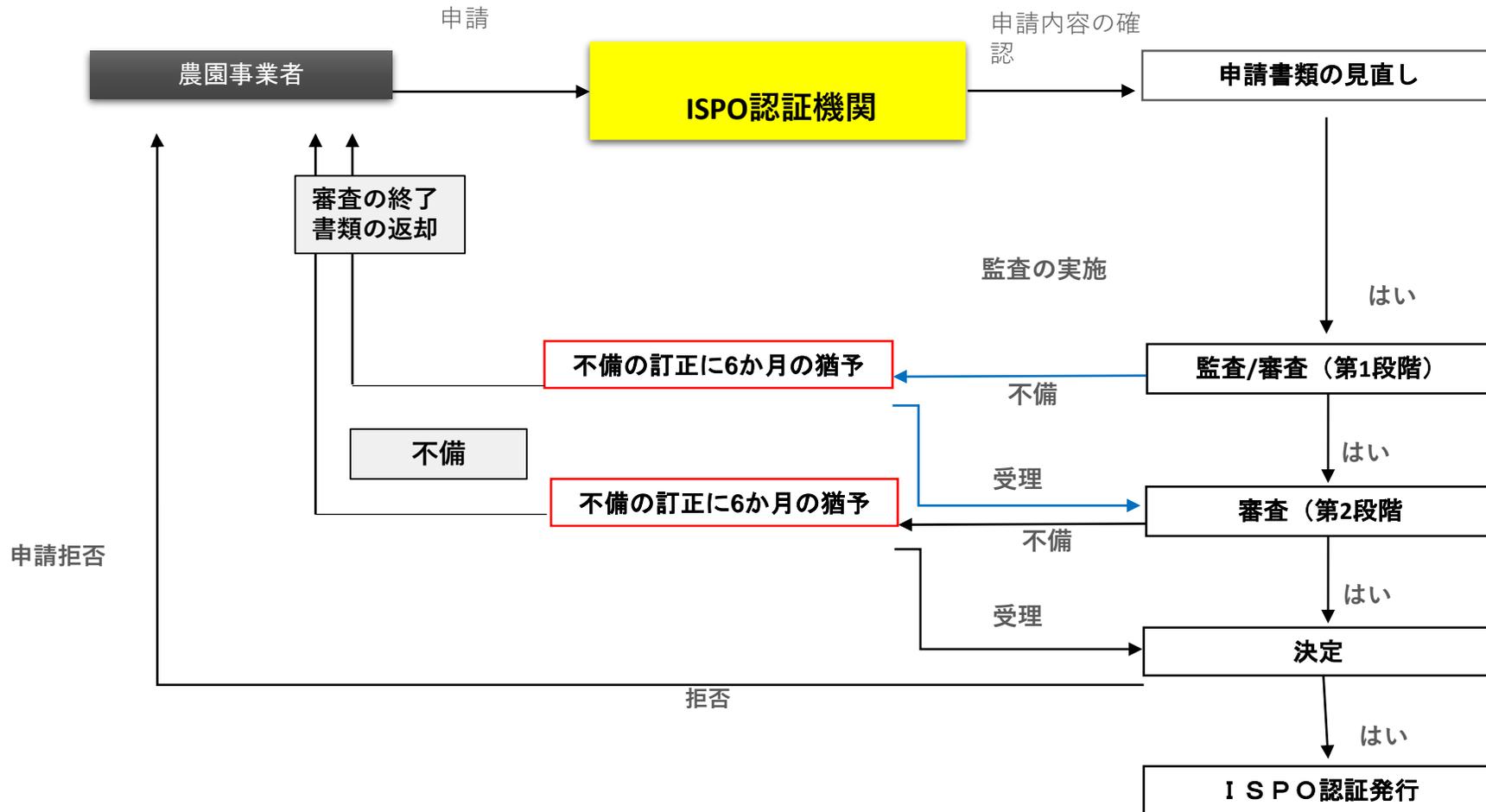
# 非公式暫定訳：ISPO認証の流れ（農業大臣規則 No.11/2015）



## 非公式暫定訳：ISPO認証について(農業大臣規則 No.11/2015)

1. 農園企業がISPO認証機関に認証申請
2. ISPO認証機関が申請内容を評価
3. ISPO認証機関が事業者との認証合意書に署名
4. ISPO認証機関による監査/審査(第1段階および第2段階)
5. ISPO認証機関が審査結果をISPO委員会の事務局に提出
6. 同事務局が提出書類を確認
7. ISPO評価チームによる審査報告内容の評価
8. ISPO評価チームが審査報告内容の評価結果をISPO委員会に報告
9. ISPO評価機関がISPO委員長とISPO認証機関長の署名済みのISPO認証を発行
10. ISPO認証には以下の情報が記載:
  - a. 事業者の氏名及び住所
  - b. 農園についての所在地、面積、生産性等の情報
  - c. ISPO認証登録番号
  - d. ISPO認証機関の名称と住所
  - e. ISPO認証の発効日と有効期限
  - f. 国家認証委員会(KAN)のロゴとISPO認証機関の認証番号

# 非公式暫定訳：I S P O 認証の流れ（農業大臣規則案）



## 非公式暫定訳：ISPO 認証について(農業大臣規則案)

1. 事業者が I S P O 認証機関（K A N の認定を得た第三者機関）に申請
2. I S P O 認証機関が申請内容を評価
3. I S P O 認証機関が事業者との認証合意書に署名
4. I S P O 認証機関が監査/審査（第1段階と第2段階）
5. 第2段階の審査に基づき I S P O 認証機関が認定書を発行
6. 認定書は以下の情報を記載:
  - a. 事業者の氏名と住所
  - b. **農園の所在地、面積、生産性\***
  - c. I S P O 認証番号
  - d. I S P O 認証機関の名称と所在地
  - e. 認証の発効日と有効期限
  - f. K A N のロゴと I S P O 認証機関の認定番号
  - g. サプライチェーンの種類
  - h. I S P O のロゴ

\* Bに製品の種類（C P O、P K O、ヤシ殻等）を追加。  
I S P O 認証機関へも農業省によって周知。

# 非公式暫定訳：I S P Oの原則と定義（事業者向け）

(ISPOに関する農業大臣規則案)

NO	原則	基準	指標
1.	法令の遵守	10	21
2.	農業生産工程管理（GAP）	2	36
3.	生活環境、自然資源、生物多様性の管理	9	49
4.	労働者に対する責任の態様	6	36
5.	社会的責任及びコミュニティ経済の強化	3	9
6.	透明性	6	18
7.	事業持続性の向上	2	4
	合計	37	173

法令順守の側面  
を網羅

サプライチェーン  
の側面を網羅

非公式暫定訳：I S P Oの原則と定義  
 (農園向け【原文ママ】)  
 (農業大臣規則案)

NO	原則	基準	指標
1.	法令の遵守	5	7
2.	農業生産工程管理 (GAP)	11	17
3.	生活環境、自然資源、生物多様性の管理	2	3
4.	労働者に対する責任の態様	-	-
5.	社会的責任及びコミュニティ経済の強化	-	-
6.	透明性	2	5
7.	持続性の向上	1	1
	合計	21	33

法令順守の側面  
を網羅

サプライチェーン  
の側面を網羅



## 2015年第11号農業大臣規則

1. 全ての農園事業者、加工業者等に義務付け。しかし、小作農民、自営農家や再生可能エネルギー向けパームオイルを製造している業者等は任意。
2. 小作農家や自営農家を区別。
3. 認証機関による認証とISPO委員会長による認定。
4. ISPO委員会長は農園総局長。ISPO事務局と評価チームが存在。
5. ISPO認証機関による認証システムは国の認証制度と関連付けられていない。

## 新たな農業大臣規則案 (新ISPO)

1. 全ての農園事業者に義務づけ。
2. 区別撤廃。
3. 認証機関による認定と認証機関長による認定。
4. 評議員会長は経済担当調整大臣。ISPO委員長は農業大臣。
5. ISPO認証機関による認証システムは国の認証制度と関連付けられている。
6. ISPO認証機関の組織に関する経済担当調整大臣規則
7. ISPO認証の原則に関する工業大臣規則





## 第1原則： 法令順守

### 土地の合法性

1. 立地許可
2. 土地取得
3. 土地に関する権利
4. 土地係争
5. 放棄地
6. 重複地

### 農園事業の合法性

7. 法人の種類
8. 環境許可
9. コミュニティ・プランテーション
10. 農園許可

## 第2原則： 農業生産工程管理（GAP）

1. 農園事業計画
2. 生産及び加工技術
  - 2.1. 開拓
  - 2.2. 播種
  - 2.3. 高山地帯での植え付け
  - 2.4. 泥炭地での植え付け
  - 2.5. 管理
  - 2.6. 害虫等の抑制
  - 2.7. 収穫
  - 2.8. パーム果実の運搬
  - 2.9. ミルでの受け入れ
  - 2.10. 加工

## 第3原則： 環境、自然資源、生物多様性の管理

1. 環境許可
2. 廃棄物処理
3. 騒音等
4. 廃棄物利用
5. 有害物質等の抑制
6. 火災等の抑制
7. 保護用地等
  - 7.1. 生物多様性
  - 7.2. 水源等の保護
  - 7.3. 浸食危険地帯の保護
8. 温室効果ガスの削減
9. 天然林・泥炭地の保護

## 第4原則： 労働者に対する責任

1. 労働安全・衛生
2. 労働契約
3. 福利厚生等の向上
4. 児童労働者の利用等
5. 労働組合
6. 協働組合



## 第5原則： 社会的責任及びコミュニティ経済の強化

1. 社会的責任
2. 先住民のエンパワーメント
3. ローカルビジネスの促進



## 第6原則： 透明性

1. パーム果実の原産確認
2. パーム果実の公平で透明性のある価格設定
3. 非機密情報等の開示
4. 収賄の拒否
5. サプライチェーンのトレーサビリティ



## 第7原則： 事業持続性の向上

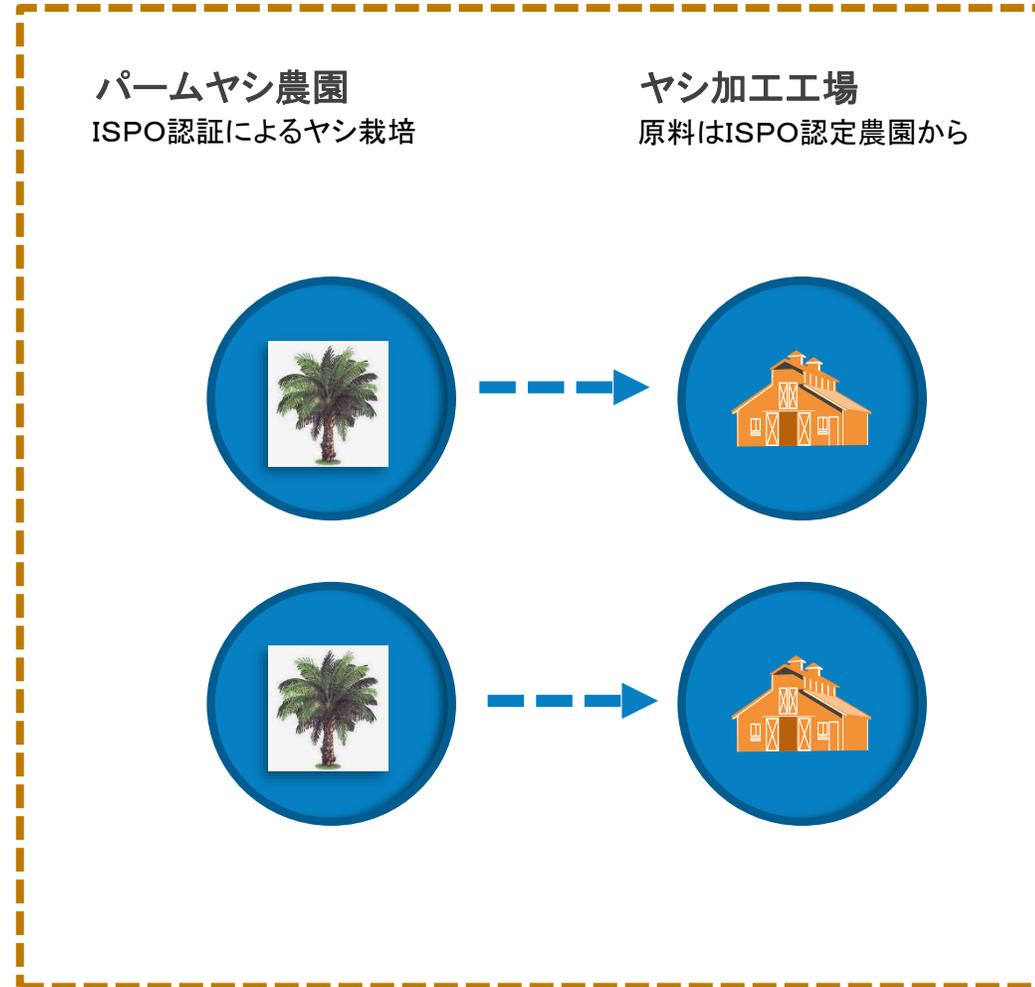
1. 全ての法的書類の有効期限の確認システム
2. 社会的責任とコミュニティ経済の強化を一定期実施



# 非公式暫定訳：ヤシ殻の検査の流れ

## 新たなISPO認証

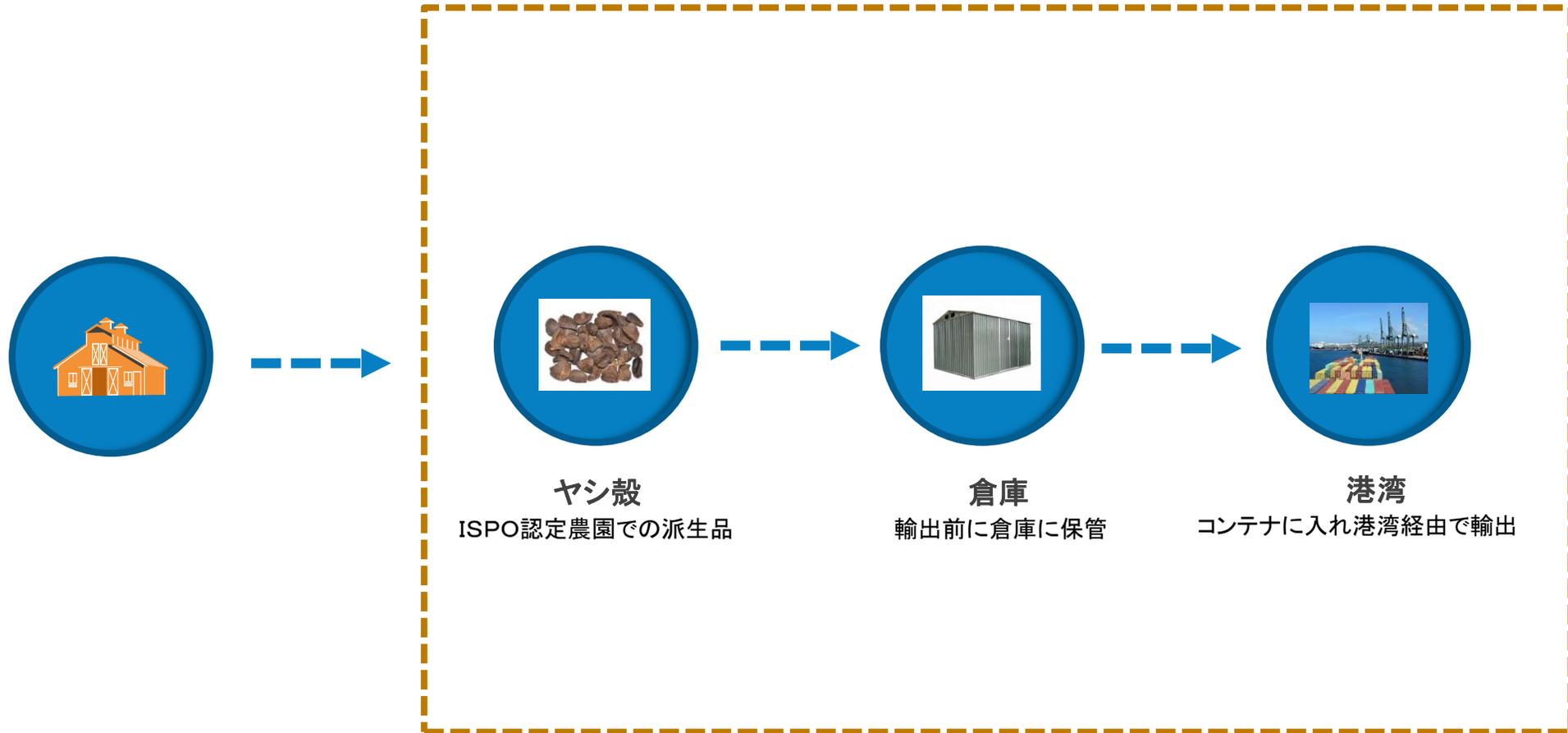
## オイル認証



# 非公式暫定訳：ヤシ殻の検査の流れ

新たなISPO認証

バイオマス認証  
ヤシ殻の検査



## 非公式暫定訳：ヤシ殻製品の受容性

1. トレーサビリティについてのインドネシア国家規格（SNI）
2. KAN認定の第三者機関によるSNI ISO/IEC 17020の検査スキーム
3. 輸出に関してボランタリティであること（原文ママ）

# 非公式暫定訳：検査の手順- マッピング

